

銃砲肉係

作業課長会同連絡事項

一 〇式擲弾器故障対策ヲ速カニ実施セラレ度

目下本兵器ヲ最モ渴望シアル中部太平洋及北東方面軍八九式短

小銃裝備ナルニ小銃々身外至、別式改正ニ基因シ本器ヲ取付可

ルヲ以テ、内筒内至ヲ一耗拡大スルコト速カニ実施セラレ度

内筒

内筒改修

四〇

閣下軍保管ノモノニ付奉送ニ於テ改修

セラレ度

二 九五軍ノ銃ノ改修(現地修理)ヲ速カニ実施セラレ度

黄銅製銃ノ補給廠保管ノモノハ迅速ニ実施セラレ務メ多ト下部隊保

管品、モノモ速カニ実施セラレ度

三 新式銃器ノ部品ヲ増産セラレ度

部品補給ノ隘路ハ造兵廠ノ異常ナル努力ニ依リ遂次打開セラレアルモ

昭和九年五月五日
補給部

比較的新式制式後日没々次、兵務部兵米ノ部隊ノ要求ヲ満足シテ
ラナル付更ニ一段ノ増打ヲ傾注スル度

(乘一選)

九五式車刀	四〇%
九九式短小銃	五〇%
九九式輕機銃	三〇%
九九式重機銃	三〇%
九九式輕機銃	六〇%

以上示セルハ部隊要求ニ對シテ
補給比率ヲ示ス

四 旧制式九九式輕機銃關稅之身ヲ生産セラレ度

現在南方作戰部隊ハ總テ旧制式(銃身緊定部)ヲ謂フ品ナルニ拘ラズ最近引
渡サル銃機機件レモ新制式品ナルハ神給(機機件)ハ機機件(機機件)下補給(旧
制式品)ニ旨指シテ(品)本調(品)要(品)行(品)連(品)生産(品)移行(品)シレ度

新制式品主体ト比較(品)目下(品)在庫(品)新調(品)要(品)キモノト豫想(品)シアリ

五 小造製九九式九九式輕機銃品製造ヲ促進セラレ度

小造製本等器ノ属品ハ輸入内滑ヲ扶キテリテ補給ヲ躊躇セサルハカラサル狀況
ニテリテ以テ特ニ有頭ニ就キ配慮相成度

遺留品ハ各道ヨリ受領セル部品屬品米數(品)之ヲ部隊ニ補給セル中(品)小補給

移動(品)地(品)故(品)品(品)補充(品)シタル現狀(品)ナリ

例(品)百頭(品)補給(品)說明(品)ナリ

10) 火砲関係

一般各種火砲、整備補給、現状ハ近來、後、
飛躍セル生産整備ト相俟テ、逐次、準備、動

員、作戦、補給、訓練等、諸要求ヲ辛ウシ

テ、充足シタルニ、未ダ満足ノ域ニ達シマラス

併ニ整備、^{重兵兵器タル}防空火砲並之ニ伴フ、観測具

等、生産整備ノ関シテハ、未ダ國內防空態

勢強化ノ徹底並ニ、戦闘熾烈ナル南方諸

作戦ノ要求ニ即應シ得サル状況ニシテ、特ニ

防空兵器^{並ニ}各種部品ノ生産整備ニハ、尙一段

ノ努力ヲ相煩度

以下之筭、生産補給状況ヲ具體的ニ

示セハ別紙ノ如シ

別紙其一

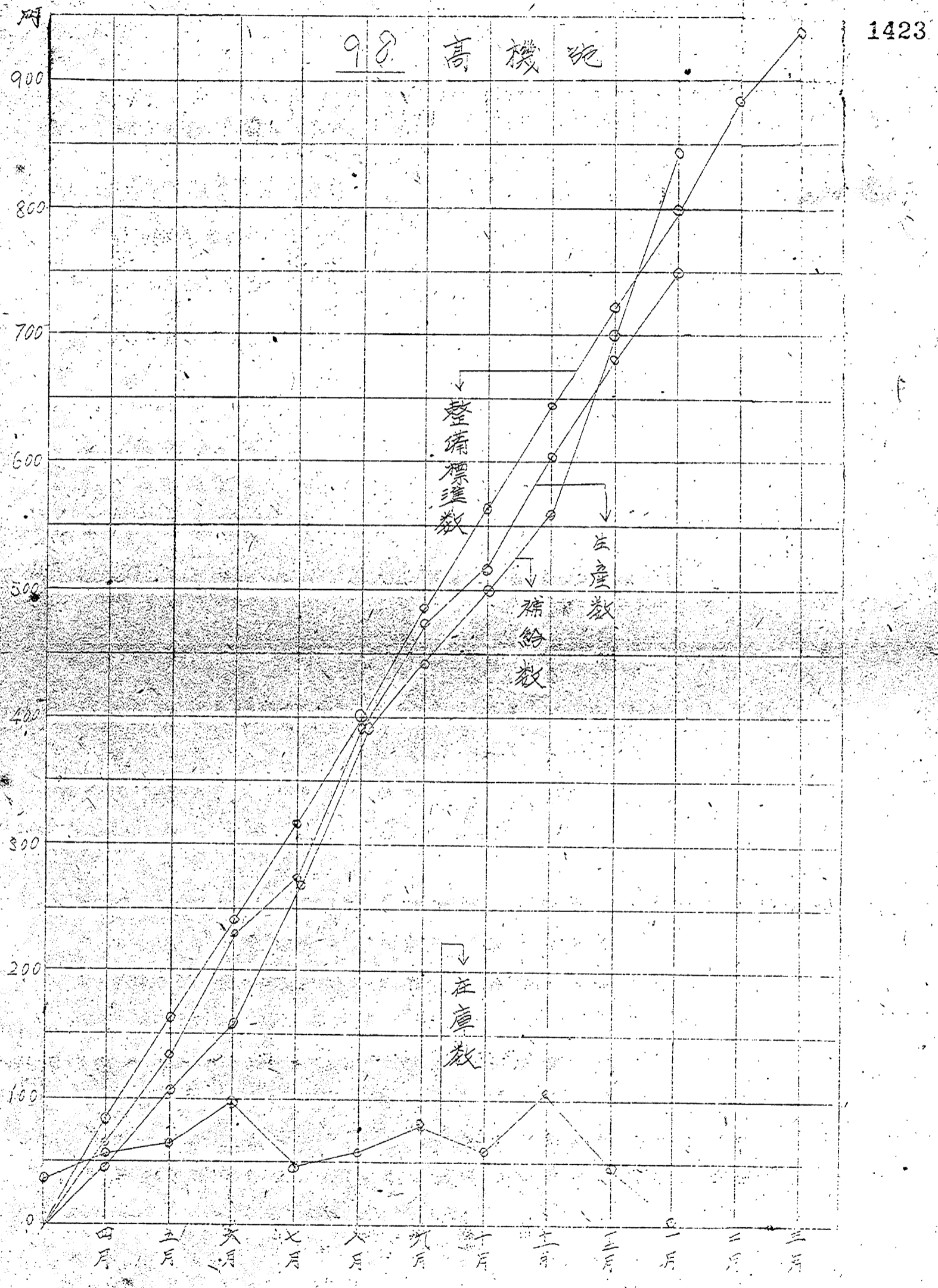
三野火砲生産補給欠数状況一覽表

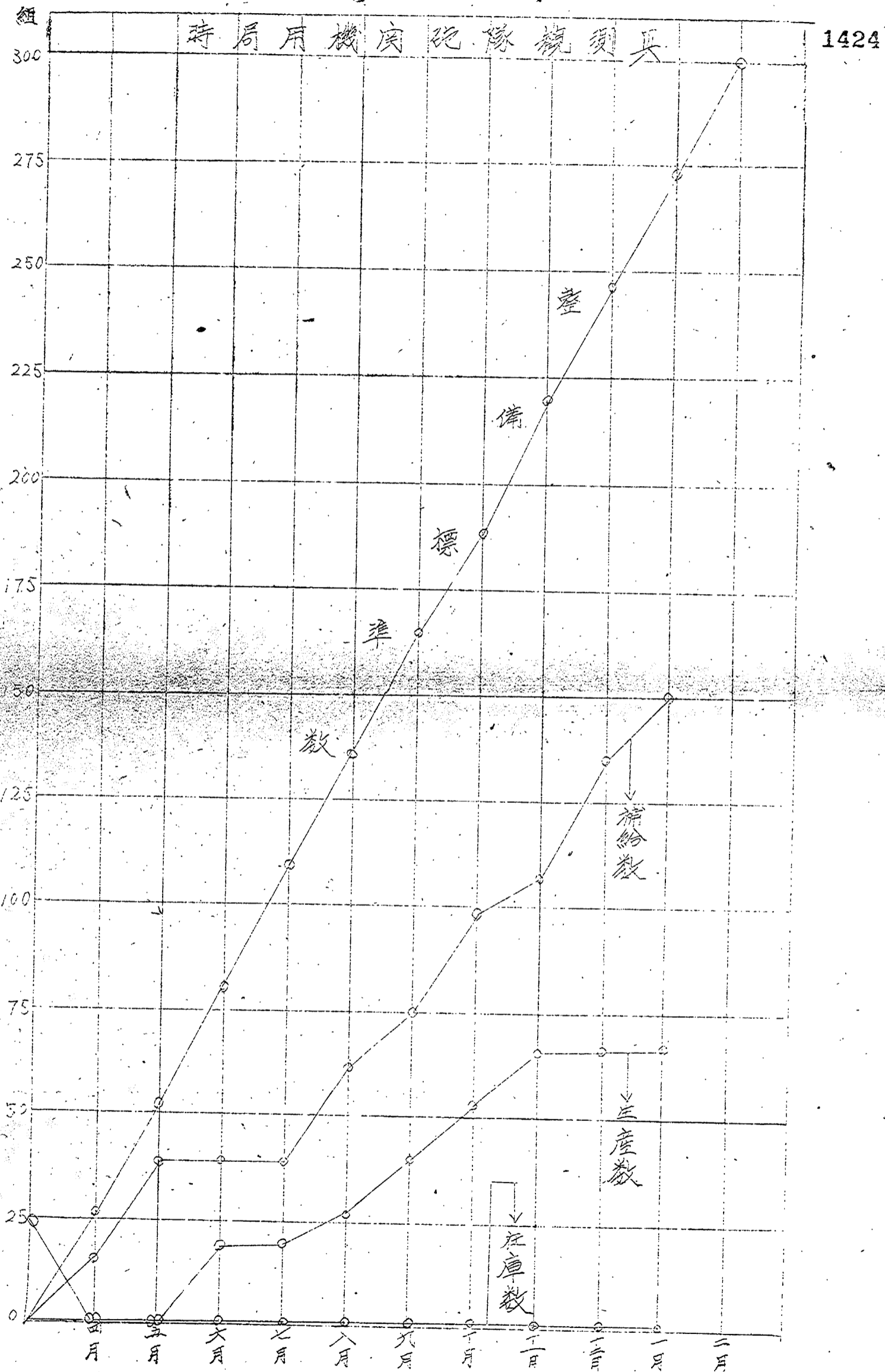
昭和三十五年
銃砲課

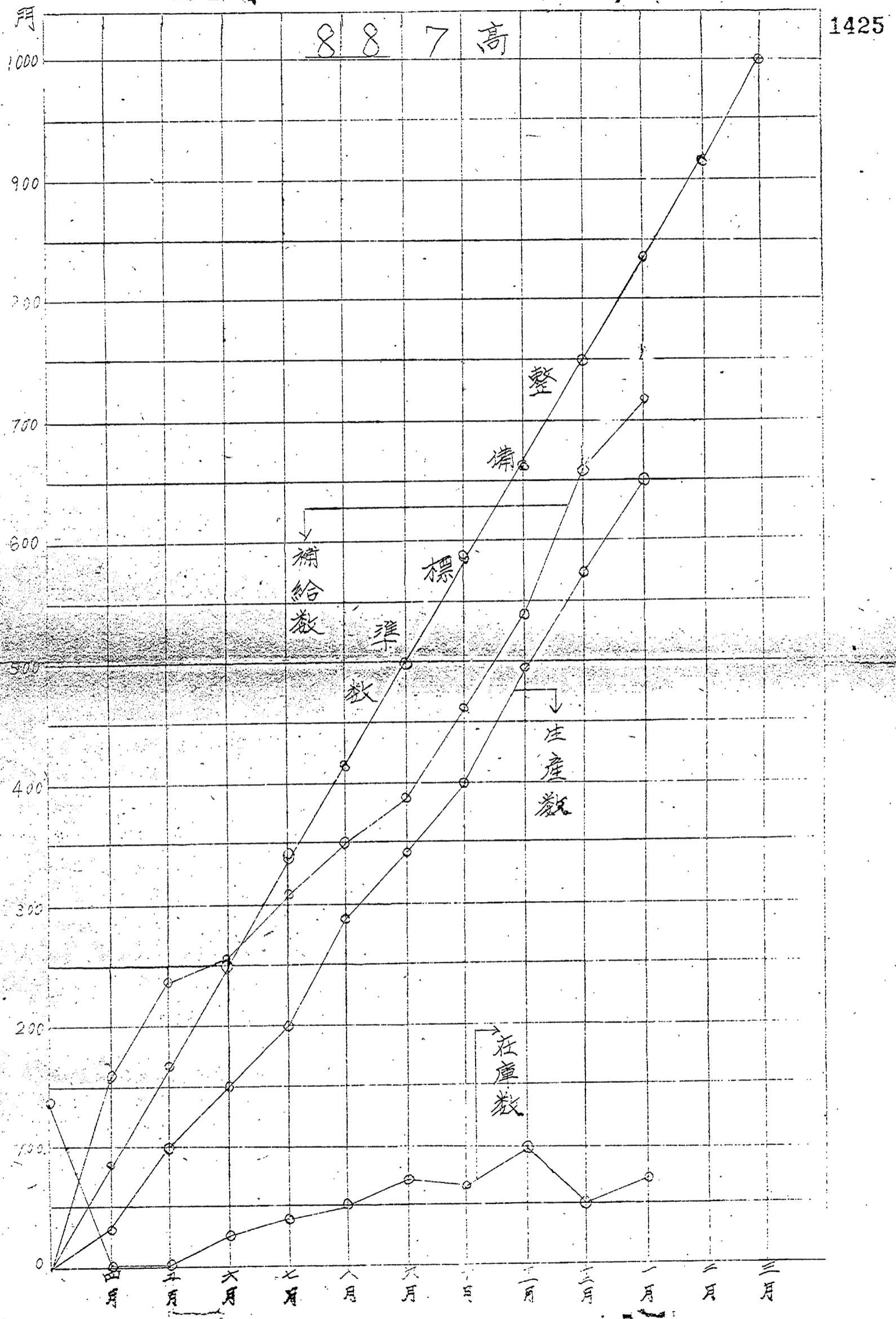
品名	製造	前年		在庫
		標準数	生産数	
① 五八高機砲小造	製造	八〇〇	七四六	八四六
② 機砲四甲種大造	製造	二七五	六四	一五〇
③ 機砲輕造	製造	六〇〇	三三二	四二一
④ 八八七高機砲	製造	五五	一六〇	一七〇
⑤ 九九六高機砲	製造	三六二	二〇五	二〇二
⑥ 十二高機砲	製造	二八	一四	一四

備考

○印ノモノハ特別圖ヲ以テ毎月ノ生産補給
狀況ヲ示シタリ

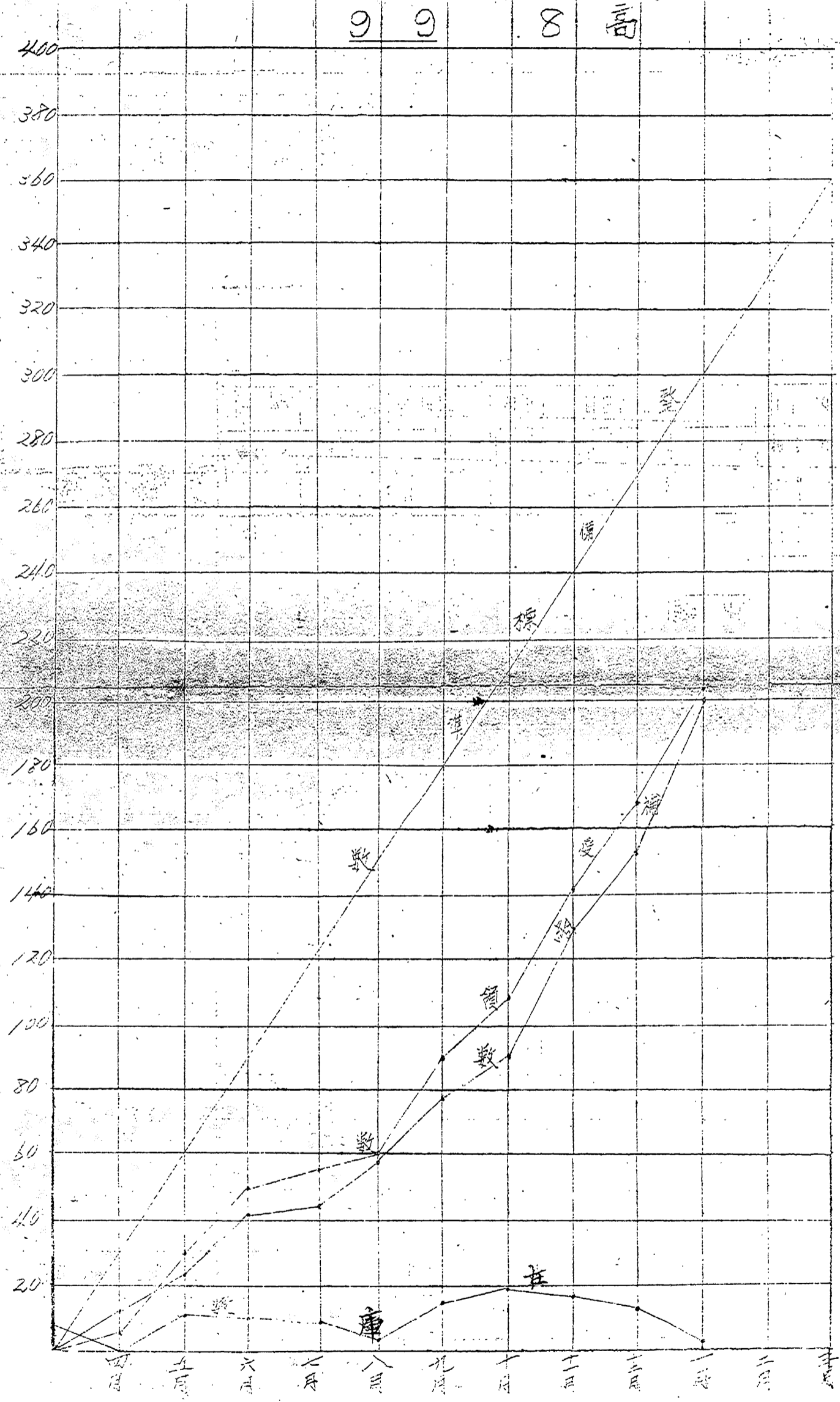






9 9 8 高

1426



別紙其二

觀測具ニ於テハ收入品ノ納ハシ履行マルタメ組織成
ニ困難ニ補給上多大ノ支障ヲ生シマル現況ナリソノ
納入狀況ノ一部ヲ示セハ左記ノ通ナルヲ以テ自今收入品ノ
生産履行調整ノ段ノ留意並具體的處置相煩
度

各種觀測具(車)收入品中欠品狀況品目員數表ノ一例

品名	製造箇所	組織成 所員數	要進送數	在庫數	所要數計
九三高法計算器具		七四	四〇二	〇	四七六
九四六号無線機		一六二	六〇	〇	七七二
九四七号無線機		一八八	一四八	〇	三三六
九四八号無線機		一〇〇	一〇〇	一六	二一六
九四九号無線機		三三二	八四四	〇	一一七六
九五〇号無線機	遠	二四九二	二二四	〇	二七一六
九五一号無線機		三〇	一五六	〇	一八六
九五二号無線機		一〇	二八	〇	三八
九五三号無線機		三〇六	一三一	四	四三九
九五四号無線機		一三二	一六二	七	二八二

備考

組織成所要數——補給廠ニ於テ組織ノ多ク即時所要
ノモノ
要進送數——鉄品ニテ納入セラレタルモノヲ其儘補給
シ部隊ヨリ請求シ来レルモノ

彈藥関係

左記兵器ハ從來整備促進方屢々要求シアルモ依然低調ニシテ作戰
補給ニ支障アリ劃期的生産促進方取計ハレ度

左記

品目	二月末迄受領数	爾後毎月受領数	計画数	実績数	実績(月平均)
八生産一般・隘路トナリアルモノ					
四〇糎夕彈	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	八,〇〇〇	四,八六〇	
九九式普通実包	二〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	一四,〇〇〇	四,五〇〇	
四十七糎砲	五,〇〇〇	一,二〇〇	一,二五〇	二,八〇〇	
一式微甲砲代用藥	七,〇〇〇	一,〇〇〇	一,二五〇	一,二五〇	
九〇式 砲門管	八,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	二,五〇〇	
一式高射機砲信管	一〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	四,〇〇〇	
一式機小口径底信管	六,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	〇	
一式聯曳信管	五,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	三,七〇〇	
一式導火索					

又政行ノ為補給ニ支障ノモノ

川二歩砲	九,〇〇〇	四,七〇〇	四,七〇〇	三,七〇〇	
九七世射	五,〇〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇	一,〇〇〇	
全 藥筒	四,〇〇〇	七,九〇〇	七,九〇〇	三,七〇〇	
九七高 藥筒	四,二〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	九,四〇〇	
九八高 藥筒	二,〇〇〇	六,二〇〇	六,二〇〇	一,四〇〇	
全 三角紙	二,〇〇〇	六,二〇〇	六,二〇〇	一,五〇〇	
十二高 式高射大砲彈丸	七,〇〇〇	四,二〇〇	四,二〇〇	一,三〇〇	
十二高 式機砲丸	二,〇〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	三,七〇〇	
全 機輪	二,〇〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	〇	

備考

既往実績月平均数ハ最近四ヶ月ノ平均数トス

無線機納入跛行状況一例

昭一九二二
 兵政本 番枚課

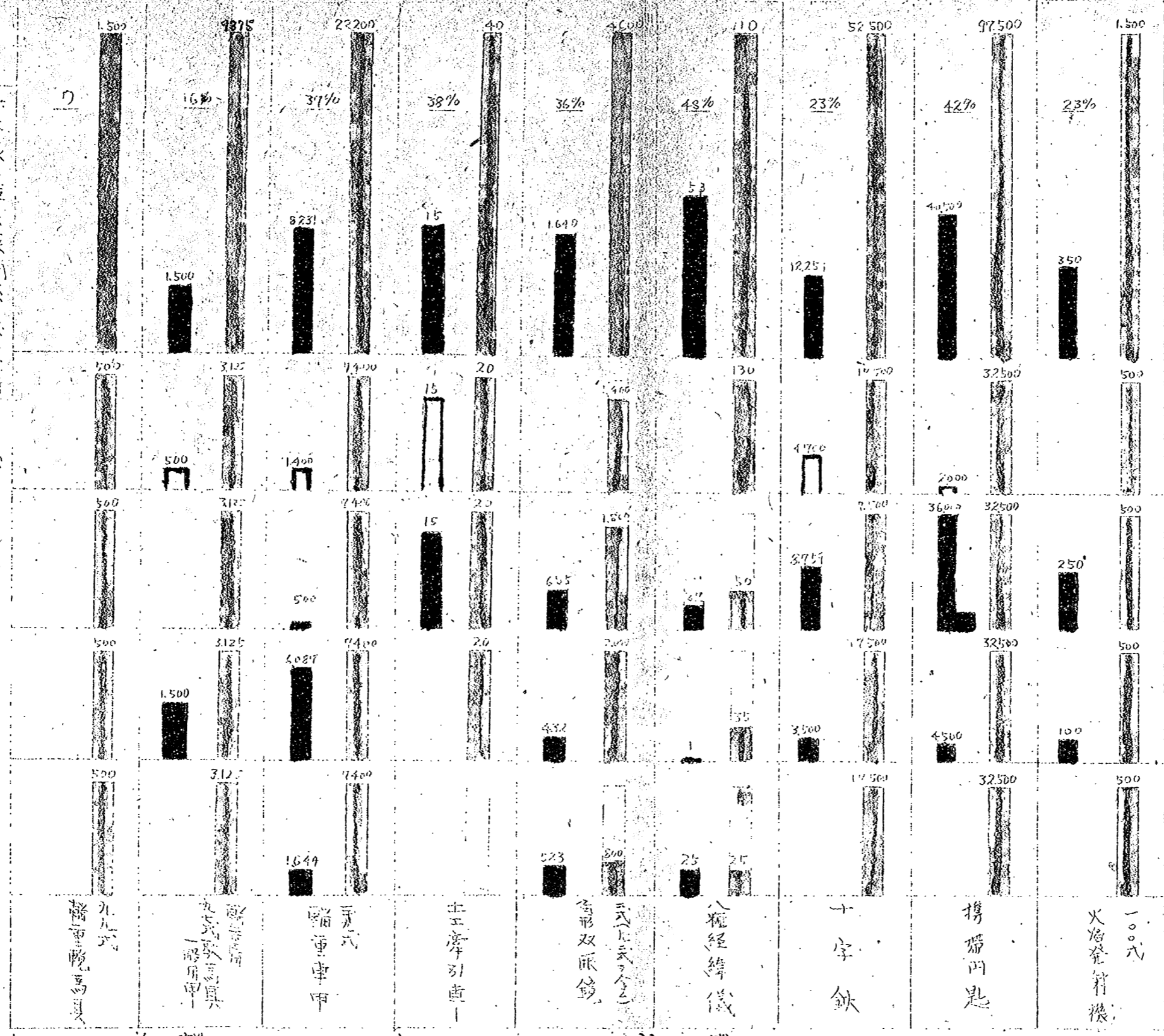
考 備	九三式無線機										計									
	UY	UF	UF	UZ	UF	UV	UX	出線掛	凡三式輕線卷匣	凡三式輕線覆線		凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線	凡三式輕線覆線
○ 一九二一年度内納入	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
□ 一九二二年度内納入	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
■ 一九二三年度内納入	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
◇ 一九二四年度内納入	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
○ 未納入	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

昭和十八年度器械輜重兵器(造兵廠関係)生産状況一例

自一八
至一八三
整備基準数に対する生産状況

各期整備基準数に対する生産状況

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十



備考
一 本表ハ造兵廠関係ノ器械輜重兵器ノ例ニ付調査ス
二 八整備基準数ニ対スル納入数ヲ示シハ 第四四半期ニ於テ現在迄ノ納入数トス
三 八整備基準数ニ対スル納入数ノ比率トス
四 整備基準数ニ対スル納入率トス